



## 慢性ひ素中毒しょうってどんなことなの

### ひ素中毒の状態が長く続いていること

ひ素中毒というのは、ひ素という薬品やその薬品でつくられたものが、人間の体に吸収されることによって起こる病気です。

また、慢性とは、病気が長く続く状態のことで、慢性ひ素中毒しょうというのは、ひ素中毒の状態が長く続いていることをいいます。

### ひ素は使い方によっては毒薬になる

ひ素は、ガラス製造や消毒剤・殺虫剤の製造、コンピュータの半導体の製造などに、はば広く使われている薬品です。

しかし、毒性が強い上に、体内にちく積されやすく、使い方をまちがえると、口や皮ふ、鼻や気管支などから、人間の体に吸収されて、げりやはき気を起こしたりします。

また、ひ素やその薬品でつくられたものにふれると、皮ふがんや皮ふえんを起こしますし、肺がん・肝こうへんなどの病気の原因となったりします。

そのため、昔は毒薬として使われたり、毒ガスの原料としても使われていました。

また、昔のひ素をとるための鉱山活動による汚染が、公害として問題となっている場所もあります。（監修・保志 宏）

